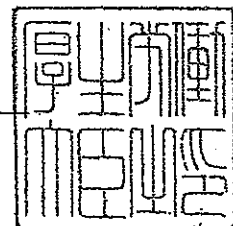


厚生労働省発食安第1204001号

平成20年12月4日

薬事・食品衛生審議会
会長 望月 正隆 殿

厚生労働大臣 舩添 要



諮 問 書

食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づき、下記の事項について、貴会の意見を求めます。

記

次に掲げる農薬の食品中の残留基準設定について

アセタミプリド

平成22年2月23日

薬事・食品衛生審議会

食品衛生分科会長 岸 玲子 殿

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会長 大野 泰雄

薬事・食品衛生審議会食品衛生分科会

農薬・動物用医薬品部会報告について

平成20年12月4日付け厚生労働省発食安第1204001号をもって諮問された、食品衛生法（昭和22年法律第233号）第11条第1項の規定に基づくアセタミプリドに係る食品規格（食品中の農薬の残留基準）の設定について、当部会で審議を行った結果を別添のとおり取りまとめたので、これを報告する。

アセタミプリド

今般の残留基準の検討については、食品中の農薬等のポジティブリスト制度導入時に新たに設定された基準値（いわゆる暫定基準）の見直しについて食品安全委員会において食品健康影響評価がなされたことを踏まえ、農薬・動物用医薬品部会において審議を行い、以下の報告をとりまとめるものである。

1. 概要

(1) 品目名：アセタミプリド [Acetamiprid (ISO)]

(2) 用途：殺虫剤

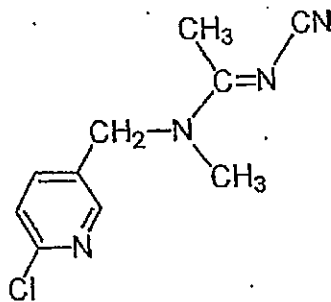
ネオニコチノイド系の殺虫剤である。作用機構は、昆虫神経のシナプス後膜のニコチン性アセチルコリン受容体に作用し、シナプス伝達の遮断を起こし殺虫活性を示すとされる。

(3) 化学名：

(*E*)-*N*¹-[(6-chloro-3-pyridyl)methyl]-*N*²-cyano-*N*¹-methylacetamidine (IUPAC)

(*E*)-*N*¹-[(6-chloro-3-pyridinyl)methyl]-*N*²-cyano-*N*-methylethanimidamide (CAS)

(4) 構造式及び物性



分子式	C ₁₀ H ₁₁ ClN ₄
分子量	222.68
水溶解度	4.25g/L (25°C)
分配係数	log ₁₀ Pow=0.80 (25°C)

(メーカー提出資料より)

2. 適用病害虫の範囲及び使用方法

本薬の適用病害虫の範囲及び使用方法は以下のとおり。

なお、今回の基準値の設定に合わせ、一部で使用方法等の適用の変更と剤型の追加がされている。

(1) 国内での使用方法

①アセタミプリド 20% 水溶剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	ミカンハモグリガ							
	アザミヤカ類							
	コナカイガラムシ類							
	ゴマダラカミキリ成虫							
	ヤノコカイガラムシ							
	コアオハナムグリ							
	クシキスイ類							
	アゲハ類							
	カメムシ類							
	アカマカカイガラムシ							
		ロウムシ類	4000倍	30～75L/10a			主幹から株元に散布	
		コナジラミ類						
	ゴマダラカミキリ	200～400倍						
りんご	アブラムシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内	
	キンモンハモグリガ							
	キンモンホリガ							
	ジクイムシ類							
	カメムシ類							
		リンゴワタムシ	4000倍					
		クワコナカイガラムシ						
		モモヨウキリゾウムシ						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセミプリドを含む農薬の総使用回数
なし	カメシ類	2000～4000倍	200～700L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	アブラムシ類						
	シクイムシ類						
	クコカカガラムシ						
	カキヒメコバエ						
もも	アブラムシ類	3回以内					
	モモモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキロアザミウマ						
	カメシ類						
	コスシハ	2000倍					
ネクタリン	アブラムシ類	4000倍	収穫3日前まで	3回以内	3回以内		
	モモモグリガ						
	シクイムシ類						
	ミカンキロアザミウマ						
	カメシ類						
ぶどう	コカカガラムシ類	2000～4000倍	収穫14日前まで	2回以内	2回以内		
	チャノキロアザミウマ						
	フタテンヒメコバエ						
	ツマグロアオカスミカメ	2000倍	収穫後秋期				
	ブトウカミキリ						
かき	カキタアザミウマ	2000～4000倍	収穫7日前まで	3回以内	3回以内		
	チャノキロアザミウマ						
	アジコカカガラムシ						
	カキノケムシガ						
	カキヒメコバエ						
	カメシ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタンプリトを含む農薬の総使用回数
小粒核果類(すももを除く)	アブラムシ類	2000~4000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布	2回以内
びわ	カキムシ類			2000倍	400L/10a		収穫前日まで
いちじく	アザミヤ類						
	キバシカキリ						
	フジコカカラムシ						
	イチジクヒトリモドキ						
かりん	ナシヒメシクイ			収穫14日前まで	2回以内		2回以内
とうもろこし	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内		4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~6000倍		収穫7日前まで	3回以内		3回以内
やまのいも	アザミヤ類	4000倍	300L/10a	種芋掘取り7日前まで	5回以内		5回以内
やまのいも(種芋栽培)	アブラムシ類						
	アザミヤ類						
やまのいも(むかご)	アブラムシ類						
	アザミヤ類			収穫21日前まで	3回以内	3回以内	
すもも	アブラムシ類	2000~4000倍	200~700L/10a	収穫7日前まで			
	シクイムシ類	4000倍					
さんしょう(葉)	チャノキイロアザミウマ	4000倍	100~300L/10a	収穫45日前まで	6回以内	6回以内	
	アブラムシ類						
さんしょう(果実)	チャノキイロアザミウマ	4000倍	300L/10a	収穫7日前まで	1回	4回以内(散布は1回以内、樹幹散布は3回以内)	
	アブラムシ類						
		コマダツカミキリ幼虫	200倍	20L/10a		3回以内	樹幹散布

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリドを含む農薬の総使用回数
おうとう	カメムシ類	2000~4000倍	200~700L/10a	収穫3日前まで	1回		1回
	オトウシヨウジウバエ						
えだまめ	アブラムシ類	4000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)
	コジラネ類			収穫21日前まで			
あずき	アブラムシ類	4000倍	100~300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどうを除く)	アブラムシ類 コジラネ類 アザシマ類						
さやいんげん	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300L/10a		3回以内	散布	3回以内
さやえんどう	コジラネ類 アザシマ類	4000倍					
きゅうり	コジラネ類	2000倍	100~300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	ミカンキイロアザミウマ ウリメイト						
すいか	アブラムシ類	2000~4000倍	100~300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
	ミカンキイロアザミウマ ウリメイト コジラネ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	7-メチルピリトを含む農薬の総使用回数							
メロン	アブラムシ類	8000倍	100～300L/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	3回以内							
うり類(漬物用)	アザミウマ類	2000～4000倍		収穫前日まで				2回以内	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びびくん煙及び株元散布は合計2回以内)					
トマト	アブラムシ類	2000倍			コナジラミ類		ヒラス [®] ハナアザミウマ							
	アブラムシ類									アブラムシ類	コナジラミ類	ヒラス [®] ハナアザミウマ		
	アブラムシ類												アブラムシ類	コナジラミ類
ミニトマト	アブラムシ類				コナジラミ類		ヒラス [®] ハナアザミウマ							
なす								アブラムシ類	シキイロアザミウマ	4000倍	3回以内	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びびくん煙は合計3回以内)		
								アブラムシ類					アブラムシ類	アザミウマ類
ピーマン	アブラムシ類				アブラムシ類		アザミウマ類	コナジラミ類	2回以内	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びびくん煙は合計2回以内)				
とうがらし類	アブラムシ類			8000倍							2回以内	2回以内		
キャベツ	コガ [®]	1000～2000倍	収穫7日前まで	5回以内		6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)								
	アオムシ	2000～4000倍												
	アブラムシ類	2000～4000倍												

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリドを含む農薬の総使用回数				
ブロッコリー	コガ	2000倍	100～ 300L/10a	収穫14日 前まで	3回以内	散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)				
	アオムシ										
	アブラムシ類										
はくさい	コガ	1000～2000倍									
	アオムシ	倍									
	アブラムシ類	2000～4000倍									
だいこん	コガ	2000倍			100～ 300L/10a			収穫7日前 まで	1回	散布	1回
	アオムシ										
	キジノミハムシ	2000～4000倍									
	アブラムシ類										
わさび だいこん	コガ	2000倍	収穫7日前 まで	1回	散布	1回					
はつか だいこん	アブラムシ類	2000～4000倍	収穫14日 前まで								
かぶ	キジノミハムシ	2000倍	収穫21日 前まで								
	アブラムシ類		1回	収穫7日前 まで							
非結球 あぶらな科 葉菜類	キジノミハムシ	4000倍			収穫7日前 まで	1回	散布	チンゲンサイは2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)、チンゲンサイ以外は1回			
									なばな類	アブラムシ類	2000～4000倍
いちご	アブラムシ類	2000～4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日 まで	2回以内	散布	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)				
	コナジラミ類	2000倍									
	ヒラズノアザミウマ										
	ミカンキイロアザミウマ										

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アタミプリトを含む農薬の総使用回数
つるな	アブラムシ類	4000～8000倍	100～300L/10a	収穫14日前まで	3回以内	散布	3回以内
ハシゲ		8000倍		収穫21日前まで			
レモンハム		4000～8000倍		収穫14日前まで			
はっか		8000倍		収穫7日前まで			
セジ		4000～8000倍		収穫21日前まで	1回		
パセリ		8000倍		収穫3日前まで			
茎ブロッコリー		4000倍		収穫前日まで	2回以内		
キャベツ		2000倍		収穫7日前まで	1回		
非結球キャベツ					2回以内		
食用さくら(葉)	アザミヤ類	4000倍	500L/10a	収穫3日前まで	1回	1回	
あけび(果実)	アブラムシ類	2000倍		収穫7日前まで	2回以内	2回以内	
たまねぎ	ネギアザミヤ			3回以内	3回以内		
ねぎ	ネギアザミヤ	2000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)	
わけぎ	アザミヤ類	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)					
あさつき	アザミヤ類						

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチリドを含む農薬の総使用回数
アスパラガス	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	コナジラミ類						
	ネギアザミウマ						
	ジュウソクヒナガハシ						
レタス	アブラムシ類	2000倍	100～ 300L/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)
非結球レタス	アザミウマ類			1回	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)		
				アブラムシ類	3回以内		3回以内
食用ぎく	アザミウマ類			2回以内	2回以内		2回以内
食用金魚草	アザミウマ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫14日前まで	1回	散布	1回
食用ブロッコリー				4回以内	4回以内		
食用ゆり	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
にら	アザミウマ類				3回以内		3回以内
てんさい	テンサイトビハムシ	200倍	ペーパーホット1冊当り 1L(3L/m ²)	定植前	1回	苗床灌注	1回
	テンサイモグリハバエ						
にがうり	アブラムシ類	4000倍	100～ 300L/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内
マンゴー	チャノキイロアザミウマ	2000倍	300～ 700L/10a	収穫35日前まで			
タイム	アブラムシ類	8000倍	100～ 300L/10a	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内
マンヨウム				収穫14日前まで			
レカノ				収穫7日前まで			

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アピラクトを含む農薬の総使用回数		
茶	チャノミドリヒメコハイ	2000～4000倍	200～400L/10a	摘採14日前まで	1回	散布	1回		
	チャノキイロアザミウマ								
	チャノホリガ								
みつば		8000倍		収穫7日前まで					
かぼちゃ	チャノキイロアザミウマ	2000倍	100～300L/10a	収穫前日まで	2回以内		散布	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)	
	チャノホリガ								
ブルーベリー	オウトウシヨウジウハエ	4000倍			1回				1回
ほうれんそう (使用時期の変更)	アブラムシ類	8000倍		収穫14日前まで	2回以内				2回以内
キウフルーツ	クワシロカゲラムシ	2000倍	400L/10a	収穫7日前まで	3回以内			散布	3回以内
カリフラワー				収穫14日前まで					
食用ほおずき			収穫7日前まで						
くきちしゃ	アブラムシ類	4000倍	100～300L/10a	収穫7日前まで	2回以内	散布			2回以内
ふだんそう									
しそ									
ふき	コジラムシ類	3000倍		収穫14日前まで					3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
らっきょう	キアザミウマ	2000倍			3回以内				3回以内
アロラ	アブラムシ類	4000倍		収穫7日前まで	2回以内				2回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
パッションフルーツ	コカバラムシ類	2000倍	100～300L/10a	収穫30日前まで	2回以内	散布	2回以内
しゅんぎく	アブラムシ類	8000倍		収穫14日前まで			
なずな				収穫7日前まで	1回		1回
ははこぐさ				4000倍	2回以内		2回以内
エンサイ							
チャービル	8000倍	収穫21日前まで		3回以内	3回以内		
クラボン	アブラムシ類	4000倍		収穫14日前まで	2回以内		2回以内
デル(葉)	8000倍	収穫21日前まで		3回以内	3回以内		
モロヘイヤ	コナジラミ類	4000倍		収穫21日前まで	1回		1回
セロリ	アブラムシ類		収穫7日前まで	2回以内	2回以内		

②アセタミプリド 2% 粒剤

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数		
キャベツ	コカバ アオムシ	1～2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)		
	コカバ アオムシ アブラムシ類 ハマダマテノメカ ハスモンヨトウ				0.5～1g/株		定植前日～定植当日	株元散布
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和			
	1～2g/株							
	はくさい	コカバ アオムシ アブラムシ類	0.5g/株		定植前日～定植当日		株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
		ハマダマテノメカ						
コカバ アオムシ アブラムシ類		1g/株	定植時	植穴土壌混和				
コカバ アオムシ								
チンゲンサイ	コカバ アブラムシ類	0.5g/株	定植前日～定植当日	株元散布	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)			
	アオムシ							

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アピタプロットを含む農薬の総使用回数
非結球あぶらな科 葉菜類(チンゲンサイを除く)	コカ	3kg/10a	は種時	1回	播溝土壌混和	1回
	アブラムシ類					
だいこん	コカ	0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類					
ブロッコリー	コカ	1~2g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
		1g/株			株元散布	
	アオムシ	0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	
	アブラムシ類	1g/株	定植時		植穴土壌混和	
	ハイマダラノメイガ	0.5~1g/株	定植前日~ 定植当日		株元散布	
		0.5g/株				
きゅうり	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時	1回	株元散布	4回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
		0.5g/株	定植後、但し収穫30日前まで			
すいか		1g/株	定植時		植穴土壌混和	
ピーマン	アブラムシ類	0.5g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
			定植前日~ 定植当日		株元散布	
なす	ミナキイロアザミ	0.5~1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)
		1g/株				
トマト	コナジラミ類	0.5g/株	生育期	2回以内	株元散布	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	トマトハモクシバエ					
ミニトマト	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回	植穴土壌混和	
	コナジラミ類		生育期			
いちご	アブラムシ類	0.5~1g/株	定植時	1回	株元散布	3回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計2回以内)
			生育期(定植30日後まで)但しマルチ被覆直前まで			
		0.5g/株	定植時			

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセチアリドを含む農薬の総使用回数	
トマト	ネメトリン	0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回	株元散布	4回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は3回以内)	
	ネメトリン						
アブラムシ類	0.25～ 0.5g/株						
ネメトリン	0.5g/株	2回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は1回以内)					
ネメトリン							
非結球トマト	ネメトリン	0.5g/株	3～6kg/10a		植付時	植溝土壌混和	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)
ネメトリン							
ばれいしょ	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時		植溝土壌混和	4回以内(植付時の土壌混和は1回以内、植付後は3回以内)	
わけぎ	ネメトリン	6kg/10a	は種時		1回	播溝土壌混和	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)
	ネメトリン						
あさつき	ネメトリン	6kg/10a	は種時	播溝土壌混和		3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和は1回以内)	
	ネメトリン						
わけぎ	ネメトリン		植付時	植溝土壌混和			
	ネメトリン						
あさつき	ネメトリン	6kg/10a	植付時	植溝土壌混和			
	ネメトリン						
ねぎ	ネメトリン	0.25～ 0.5g/株	定植前日～ 定植当日	1回		株元散布	3回以内(は種時の土壌混和は1回以内、植付時の土壌混和及び定植当日までの株元散布は合計1回以内)
	ネメトリン						
	ねぎ	ネメトリン	6kg/10a		は種時	播溝土壌混和	
		ネメトリン					
ねぎ	ネメトリン	6kg/10a	植付時		植溝土壌混和		
	ネメトリン						
ぶどう	ブドウネアブラムシ	30g/m ² (但し6kg/10a以下)	収穫14日前まで		2回以内	樹冠下または主幹周辺に散布	2回以内
さといも	アブラムシ類	3～6kg/10a	植付時		1回	植溝土壌混和	1回
えだまめ	アブラムシ類	3kg/10a	は種時			播溝土壌混和	4回以内(は種時の土壌混和は1回以内、は種後は3回以内)
		1g/株	定植時			植穴土壌混和	1回
ひこしまはるな	アブラムシ類	1g/株	定植時	植穴土壌混和		1回	
ふき	コナジラミ類	2g/株	収穫90日前まで	1回		株元散布	3回以内(粒剤の株元散布は1回以内、散布は2回以内)
	モモカアブラムシ						
こんにゃく	ワタアブラムシ	3kg/10a	培土時(出芽期)	株元土壌混和		1回	
かぼちゃ	アブラムシ類	1g/株	定植時	1回		植穴土壌混和	3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布は2回以内)
		0.5g/株					
セロリ	アブラムシ類	0.5g/株	定植時	1回		植穴土壌混和	1回

③15% アセタミプリド くん煙剤

作物名	適用場所	適用 病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用 回数	使用 方法	アセタミプリドを含む農薬の総 使用回数				
トマト	温室、ビニールハウス等の 密閉できる場所	アブラムシ類	くん煙 室容積 400m ³ (床面積 200m ² × 高さ 2m) 当り 50g	収穫前日 まで	3 回以内	くん煙	3 回以内				
きゅうり		コナジラミ類					シナキイロアザミウマ	2 回以内	5 回以内(定植時の株元散布は 1 回以内、定植後の株元散布は 1 回以内、散布及びくん煙は合計 3 回以内)		
ピーマン		アブラムシ類							3 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布及びくん煙は合計 2 回以内)		
すいか		シナキイロアザミウマ					アブラムシ類	3 回以内	4 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及びくん煙は合計 3 回以内)		
なす		シナキイロアザミウマ							4 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布及びくん煙は合計 3 回以内)		
トマト		コナジラミ類					シナキイロアザミウマ	2 回以内	3 回以内(定植時の土壌混和は 1 回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計 2 回以内)		
ミニトマト		シナキイロアザミウマ							3 回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計 1 回以内、散布及びくん煙は合計 2 回以内)		
いちご		アブラムシ類					収穫 3 日 前まで	3 回以内	3 回以内		
みかん									収穫前日 まで	2 回以内	2 回以内
スッキーニ											3 回以内
みょうが (花穂)		アブラムシ類					収穫前日 まで	3 回以内	くん煙、 但し花穂の発 生期には花穂 をマルチフィ ルム被覆した 状態で使用する	3 回以内	

④0.005% アセタミプリド スプレー剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
うめ	アブラムシ類	原液	収穫7日前まで	2回以内	希釈せずそのまま散布する	2回以内
かんきつ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
きゅうり	シキイロアザミヤ		3回以内	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
トマト	アブラムシ類		収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
	タバココナジラミ類(シルバーリーフコナジラミを含む)					
なす	シキイロアザミヤ		3回以内	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
	ホシツコナジラミ					

⑤2% アセタミプリド 液剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数
かき	カキノハダシカ	500倍	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
うめ	アブラムシ類			2回以内		2回以内
かんきつ			収穫14日前まで	3回以内		3回以内
トマト			収穫前日まで	2回以内		3回以内(定植時の土壌混和は1回以内、散布及びくん煙及び株元散布は合計2回以内)
なす				4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
きゅうり			3回以内	5回以内(定植時の株元散布は1回以内、定植後の株元散布は1回以内、散布及びくん煙は合計3回以内)		
はくさい	アオムシ	250倍	収穫14日前まで	5回以内	4回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は3回以内)	
キャベツ			収穫7日前まで		6回以内(粒剤の株元散布及び土壌混和は合計1回以内、散布は5回以内)	

⑥18% アセタミプリド 液剤

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む農薬の総使用回数	
かんきつ	アブラムシ類	4000倍	200～700L /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布	3回以内	
	ミカンハモグリガ							
	コアオハナムグリ							
	ケシキスイ類							
	アカマルカイラムシ							
	ヤノネカイラムシ	2000～ 4000倍						
	アザミウマ類							
	コナカイラムシ類							
	コマダツカミ成虫	4000倍						
	カメムシ類							
コマダツカミ		30～75L /10a	200～700L /10a	収穫7日前 まで	主幹から 株元に散布			
キウイフルーツ	キウイメモコバイ	400倍				散布		
ばれいしょ	テントウムシダマシ	4000～ 6000倍	100～300L /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	4回以内(植付時 の土壌混和は1 回以内、植付後 は3回以内)	
								64倍
とうもろこし (子実)	アブラムシ類	4000～ 6000倍	100～300L /10a	収穫14日前 まで	3回以内	散布		
未成熟 とうもろこし		64倍	3.2L/10a			無人ヘリコプター による散布		
てんさい	テンサイヒバムシ	200倍	ペーパーポット 1冊当り 1L(3L/m ²)	定植前	1回	苗床灌注	1回	
あずき	アブラムシ類	4000倍	100～300L /10a	収穫21日前 まで	3回以内	散布	3回以内	
やまのいも	アブラムシ類	4000倍	100～300L /10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内	
やまのいも (むかご)				収穫21日前 まで				
はくさい				収穫14日前 まで				
キャベツ				収穫7日前 まで	5回以内			6回以内(粒剤の 株元散布及び土 壌混和は合計1 回以内、散布は5 回以内)
だいこん はつかだ いこん				収穫14日前 まで				
茶	チャノトリヒメコバイ	2000倍	200～400L /10a	摘採14日前 まで	1回		1回	
	チャノキイロアザミウマ							
	マダラカサハラハムシ	2000～ 4000倍						
	コシロアブラムシ							
チャノホソカ								

⑦0.005% アセタミプリド・0.04% チオファネートメチル スプレー剤

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用 時期	本剤の 使用回 数	使用方 法	アセタミプリドを 含む農薬の総使用回 数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回 数
きゅうり	炭疽病	原液	収穫 前日 まで	3回 以内	希 釈 せ ず そ の ま ま 散 布 す る	5回以内(定植時の株 元散布は1回以内、 定植後の株元散布は 1回以内、散布及びく ん煙は合計3回以 内)	6回以内(種子への処 理は1回以内、は種後 は5回以内)
	うどんこ病						
	アブラムシ類 コナジラミ類						
トマト	葉かび病			2回 以内		3回以内(定植時の土 壌混和は1回以内、 散布及びくん煙及び 株元散布は合計2回 以内)	
	コナジラミ類						
なす	アブラムシ類			3回 以内		4回以内(粒剤の株元 散布及び土壌混和は 合計1回以内、散布 及びくん煙は合計3 回以内)	

⑧1% アセタミプリド 粒剤 (新規)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アセタミプリドを含む 農薬の総使用回数
きゅうり	アブラムシ類	1~2g/株	定植後から 収穫前日 まで	3回以内	株元散布	5回以内(定植時の2%粒 剤の株元散布は1回以 内、定植後の2%粒剤の 株元散布は1回以内、 散布及びくん煙及び1% 粒剤の株元散布は合計 3回以内)
	コナジラミ類	1g/株				
なす	アブラムシ類	1~2g/株				4回以内(定植時の2%粒 剤の株元散布及び土壌 混和は合計1回以内、散 布及びくん煙及び1%粒 剤の株元散布は合計3 回以内)
トマト・ ミニトマト	コナジラミ類	1g/株				
ピーマン	アブラムシ類	1~2g/株		2回以内		3回以内(定植時の2%粒 剤の土壌混和は1回以 内、散布及びくん煙及 び1%粒剤の株元散布は 合計2回以内)

(2) 海外での使用方法

① 70% アセタミプリド 水和剤 (米国)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類 エンドウマメ インゲンマメ ダイズ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類 Cucumber beetle ダイズサルハムシ インゲンテントウ	0.044-0.1	航空散布 5 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1	地上散布 20 gallons/A		
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberous And Corn Vegetables ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.044-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.025-0.075			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.05-0.075			
アブラナ科作物 ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.035-0.054	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜 セロリ レタス カラシナ ホウレンソウ パセリ 等	アブラムシ類	0.035-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.05-0.075			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
タマネギ および Bulb Vegetable 類 タマネギ ニンニク ユリネ 等	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
果菜類 ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類	0.035-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	コロラドハムシ	0.025-0.05			
	コナジラミ類	0.05-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	Pepper weevil	0.05-0.075			
うり類 メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm	0.05-0.10	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 直後 まで (PHIO)	5回 以内
	ヘリカメムシ類 Squash vine borer	0.1			
	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.075			
	シルバーリーフ コナジラミ	0.05-0.10			
柑橘類 グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類	0.05-0.1	航空散布 20 gallons/A 地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	Citrus thrips, ミカンハモグリガ Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter	0.75-0.125			
	アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ	0.15-0.25			
	キリギリス類	0.11-0.19			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Pome Fruit リンゴ ナシ マルメロ ビワ 等	アブラムシ類	0.05-0.075	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Tentiform leafminer	0.05			
	ヨコバイ類	0.05-0.075			
	コドリングア	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Lesser apple worm	0.1-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.1-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit アプリコット オウトウ ネクタリン モモ プラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.10	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシンクイ Peach twig borer Plum curculio	0.1-0.15			
	Cat-Facing insects	0.10-0.15			
	Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly				
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer				

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
イチゴ および Low growing berry類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, マメコガネ, Oblique banded leaf roller, カスミカメムシ類 ケシキスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	2回 以内
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry類 ブルーベリー ラズベリー 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.044-0.1			
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ, Blueberry maggot, ケシキスイ類, Tarnished plant bug, Strawberry rootworm, Carnberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	5回 以内
ぶどう キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (パッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.05	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
綿実	アブラムシ類	0.025-0.05	地上散布 5~10 gallos/A	収穫 28日前 まで	4回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			
	カスミカメムシ類	0.05-0.1			
	ノミハムシ類	0.025-0.05			
	アザミウマ類	0.05-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.025-0.05			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.05-0.18	航空散布 10 gallons/A	収穫 14日前 まで	4回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.125			
	コドリング ナシヒメシクイ Peach twing borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm Navel orangeworm	0.1-0.18	地上散布 50 gallons/A		

② 30% アセタミプリド 水溶性粒剤 (米国)

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
まめ類 エンドウマメ インゲンマメ ダイズ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類 Cucumber beetle ダイズサルハムシ インゲンテントウ	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	3回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	アザミウマ類	0.085-0.1			
Tuberous And Corm Vegetables ジャガイモ サツマイモ クズウコン アーティチョーク 等	アブラムシ類	0.047-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	ヨコバイ類, コロラドハムシ Cucumber beetle	0.028-0.075			
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	ヨーロッパアワノメイガ (卵)	0.047-0.075			
アブラナ科作物 ブロッコリー キャベツ 芽キャベツ ミズナ カリフラワー ケール 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	コナガ	0.075			
	Swede midge	0.075			
葉野菜 セロリ レタス カラシナ ホウレンソウ パセリ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.056-0.075			

作物群	適用病害虫名	薬量 Ib ai/A	使用液量	使用時期	使用回数
タマネギ および Bulb Vegetable類 タマネギ ニンニク ユリネ 等	アザミウマ類	0.094-0.15	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
果菜類 ナス トマト ホウズキ トウガラシ 等	アブラムシ類	0.038-0.075	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	コロラドハムシ	0.028-0.047			
	コナジラミ類	0.047-0.075			
	アザミウマ類	0.075			
	Pepper weevil	0.047-0.075			
うり類 メロン キュウリ カボチャ スイカ 等	Cucumber beetle Melonworm Pickleworm	0.047-0.10	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 直後 まで (PHI 0)	5回 以内
	ヘリカメムシ類 Squash vine borer	0.10			
	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.075			
	シルバーリーフ コナジラミ	0.047-0.10			
柑橘類 グレープフルーツ キンカン レモン ライム オレンジ ミカン 等	アブラムシ類	0.047-0.103	航空散布 20 gallons/A 地上散布 100 gallons/A	収穫 7日前 まで	5回 以内
	Citrus thrips, ミカンハモグリガ, Caribbean black scale, Glassywinged shaepshooter	0.075-0.13			
	アカマルカイガラムシ, カンキツカタカイガラムシ	0.15-0.25			
	キリギリス類	0.11-0.19			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Pome Fruit リンゴ ナシ マルメロ ビワ 等	アブラムシ類	0.047-0.075	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Tentiform leafminer	0.047			
	ヨコバイ類	0.047-0.075			
	コドリンガ	0.075-0.15			
	ナシヒメシクイ Lesser apple worm	0.094-0.15			
	コナカイガラムシ類 <i>Psylla mullein</i> カスミカメムシ類	0.075-0.15			
	European apple sawfly マメコガネ	0.094-0.15			
	Apple maggot Plum curculio ナシマルカイガラムシ	0.15			
	Dogwood borer	0.15			
Stone Fruit アブリコット オウトウ ネクタリン モモ プラム 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.10	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 7日前 まで	4回 以内
	Glassywinged sharpshooter	0.075-0.15			
	ナシヒメシクイ Peach twig borer Plum curculio	0.10-0.15			
	Cat-facing insects Cherry fruit fly Black cherry fly Western cherry fly	* 0.10-0.15			
	ナシマルカイガラムシ マメコガネ Rose chafer	0.10-0.15			

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
イチゴ および Low growing berry 類	Blueberry maggot, Blueberry spanworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, マメコガネ, Oblique banded leaf roller, カスミカメムシ類 ケシキスイ類, アザミウマ類 コナジラミ類 Fireworm	0.075-0.13	航空散布 10 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	2回 以内
	アブラムシ類 ヨコバイ類 アワフキムシ類	0.035-0.075			
ブルーベリー および Bush and Cane berry 類 ブルーベリー ラズベリー 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.1	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 1日前 まで	5回 以内
	コナジラミ類	0.075-0.1			
	マメコガネ Blueberry maggot, ケシキスイ類, Tarnished plant bug, Strawberry rootworm, Cranberry fruitworm, Cherry fruitworm, ノミハムシ類, Blueberry spanworm アザミウマ類	0.085-0.1			
ぶどう キウイフルーツ (Fuzzy kiwifruit を 除く)	ヨコバイ類, Glassywinged sharpshooter, アブラムシ類, コナカイガラムシ類 Western grapeleaf skeletonizer (ロッキー山脈東側のみの登録) ブドウネアブラムシ Banded grape bug Rose chafer マメコガネ	0.047	航空散布 5 gallons/A 地上散布 20 gallons/A	収穫 7日前 まで	2回 以内

作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
綿実	アブラムシ類	0.028-0.047	航空散布 5 gallons/A 地上散布 10 gallons/A	収穫 28日前 まで	4回 以内
	シルバーリーフ コナジラミ	0.075-0.1			
	カスミカメムシ類	0.047-0.1			
	ノミハムシ類	0.028-0.047			
	アザミウマ類	0.047-0.075			
	オオタバコガ (卵)	0.028-0.047			
	コナジラミ類 (卵)	0.075-0.1			
Tree Nuts アーモンド ペカン マカデミアナッツ ピスタチオ 等	アブラムシ類 ヨコバイ類	0.047-0.18	航空散布 10 gallons/A 地上散布 50 gallons/A	収穫 14日前 まで	4回 以内
	Glassywinged Sharpshooter Pecan Nut Casebearer	0.075-0.15			
	コドリンガ ナシヒメシシクイ Peach twig borer ナシマルカイガラムシ Hickory shuckworm Pecan weevil Red humped caterpillar Filbertworm	0.10-0.18			

③ 4%アセタミプリド+5%インドキサカルブ 水和剤 (韓国)

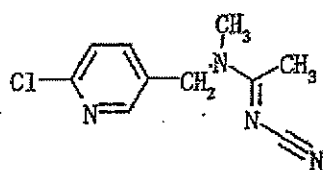
作物群	適用病 害虫名	薬量 lb ai/A	使用 液量	使用 時期	使用 回数
Unipe red peppers	アブラムシ類、蛾類、 シラミ類、アザミウマ	1000倍希釈 (a.i. 0.010 kg/10a)	葉面散布 250 L/10 a	収穫 2日前 まで	2回

3. 作物残留試験

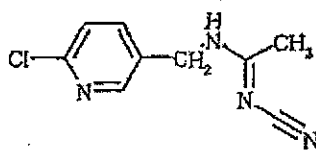
(1) 分析の概要

① 分析対象の化合物

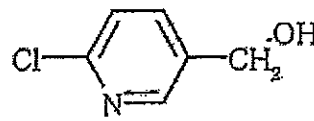
- ・ アセタミプリド (GC法、HPLC法)
- ・ アセタミプリド及び代謝物 5 化合物 (IM-2-1, IM-0, IM-0-Glc, IC-0) (統一法)



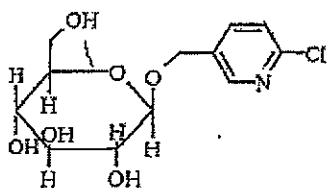
アセタミプリド (NI-25)



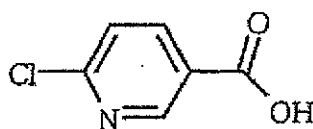
IM-2-1



IM-0



IM-0-Glc



IC-0

② 分析法の概要

- ・ GC法
アセトン抽出後、酢酸エチルに転溶し、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製後、アルカリ熱イオン化検出器又は高感度窒素・リン酸検出器付きガスクロマトグラフで定量する。
- ・ HPLC法
アセトンで抽出、多孔性ケイソウ土カラムを通した後、ケイ酸マグネシウムミニカラムで精製し、高速液体クロマトグラフを用いて定量する。
- ・ 統一法
メタノールで抽出後、水酸化ナトリウムで加水分解し、更に過マンガン酸カリウムで酸化し、すべての化合物を同一化合物 (IC-0) とする。ジクロロメタン+アセトンに転溶後、ジアゾメタンを用いて、エステル化し、カラムクロマトグラフィーで精製後、ガスクロマトグラフ (^{63}Ni ECD等) で定量する。

(2) 作物残留試験結果

国内で実施された作物残留試験の結果の概要を、別紙1-1に、海外で実施された作物残留試験の結果を別紙1-2にまとめた。

4. 乳牛における残留試験

乳牛に対して、飼料中濃度として 0, 6, 18, 60 ppm に相当する量のアセタミプリドを封入したカプセルを 1 日 1 回、28 日間にわたって強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓、腎臓及び牛乳に含まれるアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 の含量が測定された（定量下限：0.01~0.05 ppm）。

18 ppm 以上の投与群から 筋肉、脂肪、肝臓に、60 ppm 投与群から 腎臓に アセタミプリドの検出が認められ、全ての投与群で、筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓に 代謝物 IM-2-1 の検出が認められた。

牛乳については、全ての投与群から、アセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 の検出が認められ、アセタミプリドは約 1 日後に、代謝物 IM-2-1 は約 8 日後に、平衡濃度に達するものと推察された（結果については、下表参照）。

表. 乳牛 組織中の親化合物及び代謝物の残留 (ppm) (平均値)

	6 ppm 投与群		18 ppm 投与群		60 ppm 投与群	
	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1
筋肉	<0.01	0.038	0.019	0.16	0.074	0.90
脂肪	<0.01	0.027	0.011	0.064	0.033	0.33
肝臓	<0.05	0.10	0.053	0.39	0.16	2.1
腎臓	<0.05	0.19	<0.05	0.65	0.094	2.3
牛乳	0.012~0.016	0.031~0.059	0.042~0.059	0.13~0.21	0.17~0.21	0.54~0.95

注) 筋肉、脂肪、肝臓及び腎臓は 28 日後の、牛乳は 投与期間中の残留値

上記の結果に関連して、米国では、肉牛及び乳牛における最大理論的飼料負荷 (MTDB) ^{注)} は、4.5 ppm と評価されている。

注) 最大理論的飼料由来負荷 (Maximum Theoretical Dietary Burden: MTDB) : 飼料として用いられる全ての飼料品目に残留基準まで残留していると仮定した場合に、飼料の摂取によって畜産動物が暴露されうる最大量。飼料中残留濃度として表示される。

(参考: Residue Chemistry Test Guidelines OPPTS 860.1480 Meat/Milk/Poultry/Eggs)

なお、ヤギに対して、¹⁴C 標識したアセタミプリドを、7 日間強制経口投与（飼料中濃度として、1, 10 ppm 相当）した運命試験において、可食部（筋肉、脂肪、肝臓、腎臓）、乳汁に含まれるアセタミプリド及び代謝物が測定されている。その結果、吸収されたアセタミプリドは、代謝され、主な組織残留物は、筋肉では 代謝物 IM-2-2、その他の組織では 代謝物 IM-2-1 と同定されている。組織中での残留は少ないとされ、大部分は速やかに尿中に排泄されるものと考えられている。

また、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、アセタミプリドが乳汁中に蓄積する可能性は低いと記載されている。

5. 産卵鶏における残留試験

産卵鶏に対して、飼料中濃度として 0, 1.2, 3.6, 12 ppm に相当する量のアセタミプリドを封入したカプセルを 1 日 1 回、28 日間にわたって強制経口投与し、筋肉、脂肪、肝臓及び卵に含まれるアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 含量が測定された（定量下限：0.01 ppm）。いずれの投与群においても、組織中のアセタミプリドは定量下限未満であり、全ての投与群から肝臓及び卵に、3.6 ppm 以上の投与群から筋肉に、12 ppm 投与群から脂肪に代謝物 IM-2-1 の検出が認められた。鶏卵中の代謝物 IM-2-1 は、約 8 日後に平衡濃度に達するものと推察された（結果については、下表参照）。

表. 産卵鶏 組織中の親化合物及び代謝物の残留 (ppm) (平均値)

	1.2 ppm 投与群		3.6 ppm 投与群		12 ppm 投与群	
	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1	アセタミ プリド	代謝物 IM-2-1
筋肉	<0.01	<0.01	<0.01	0.023	<0.01	0.069
脂肪	—	—	<0.01	<0.01	<0.01	0.011
肝臓	<0.01	0.067	<0.01	0.18	<0.01	0.47
卵	<0.01	0.012~0.028	<0.01	0.042~0.093	<0.01	0.12~0.31

注) 筋肉、脂肪及び肝臓は 28 日後の、卵は 投与期間中の残留値

上記の結果に関連して、米国では、綿実加工品のあら粉が飼料に用いられる可能性に配慮して、家禽のトレランスが設定されたもの（メーカー）と考えられる。

なお、産卵鶏に対して、¹⁴C 標識したアセタミプリド（飼料中濃度として、1, 10 ppm 相当）を 14 日間強制経口投与した運命試験において、可食部（筋肉、脂肪、肝臓）、卵（卵白・卵黄）等に含まれるアセタミプリド及び代謝物が測定されている。その結果、吸収されたアセタミプリドは、代謝され、主な組織残留物は代謝物 IM-2-1 と同定されている。組織での残留は少なく、速やかに糞中に排泄されるものと考えられている。卵での回収率は、投与量の 1.3~1.4% と算出されている。

また、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、卵黄・卵白中にアセタミプリドが蓄積する可能性は低いと記載されている。

6. ADI の評価

食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 2 項の規定に基づき、平成 20 年 2 月 12 日付け厚生労働省発食安第 0212003 号により食品安全委員会あて意見を求めたアセタミプリドに係る食品健康影響評価について、以下のとおり評価されている。

・ ADI

無毒性量：7.1 mg/kg 体重/day (発がん性は認められていない)

(試験の種類) 慢性毒性/発がん性併合試験

(動物種) ラット

(投与方法) 混餌投与

(期間) 2年間

安全係数：100

ADI : 0.071 mg/kg 体重/day

(参考) 急性参照用量 (ARfD)

無毒性量：10 mg/kg 体重

(試験の種類) 急性神経毒性試験

(動物種) ラット

(投与方法) 強制経口投与

(期間) 単回

安全係数：100

ARfD : 0.1 mg/kg 体重/日

7. 諸外国における状況

JMPRにおける毒性評価はされておらず、国際基準は設定されていない。米国、カナダ、欧州連合 (EU)、オーストラリア及びニュージーランドについて調査したところ、米国において、葉菜類、ベリー類果実、畜産物等に、カナダにおいて、アブラナ科野菜、なす科野菜、畜産物等に、オーストラリアにおいて、ばれいしょ、綿実、畜産物等に、EUにおいて、葉菜類、畜産物等に基準値が設定されている。

8. 基準値案

(1) 残留の規制対象

・ 農産物 アセタミプリド

・ 畜産物 アセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 (N^1 -[(6-クロロ-3-ピリジル)メチル]- N^2 -シアノアセトアミジン) に分子量の比である 1.067 を係数として乗じ、アセタミプリドに換算したものの和

植物体内運命試験において、アセタミプリド、代謝物 IM-2-1、IM-1-4、IM-0、IC-0、IS-1-1、IS-2-1、IM-0-Glc 等の分析が行われている。代表的な農産物について、基準値設定に参照する最大残留となる使用時期には、親化合物アセタミプリドが大部分を占めているとの記載がされていること及び従前の規制対象の取扱いを加味し、農産物の規制対象として代謝物を含めないこととした。なお、作物残留試験で統一法による結果と個別法 (GC 法又は HPLC 法) の結果の両方が報告されている場合で、両方の残留値の差が大きい場合は、個別法によるアセタミプリドの値を採用して基準値を設定す

ることとし、両者の結果が類似の場合及び統一法の結果のみが報告されている場合は、統一法の値をアセタミプリドの残留値と同等に扱って基準値を設定することとした。

一方、畜産物移行性試験においては、アセタミプリドのほか、主要代謝物として IM-2-1 が、親化合物のアセタミプリドを上回る濃度で検出が認められている。米国、カナダ、オーストラリアにおいて、アセタミプリド及び代謝物を畜産物の規制対象としていることも勘案し、畜産物の規制対象をアセタミプリド及び代謝物 IM-2-1 とした。

なお、食品安全委員会によって作成された食品健康影響評価において、農産物の暴露評価対象物質として、アセタミプリドを設定している。

(2) 基準値案

別紙2のとおりである。

なお、参考として、食品安全委員会より回付された急性参照用量 (ARfD) に関して、今回の基準値(案)の設定に当たっては、2008年5月23日に開催された薬事・食品衛生審議会 食品衛生分科会 農薬・動物用医薬品部会での説明資料「短期暴露量推計：JMPRの手法と所要データについて」に沿って、平成20年度の厚生労働科学研究「食品中残留農薬等の汚染実態把握と急性暴露評価に関する研究」において、利用可能とされる暫定的なパラメータを用いて短期暴露評価の試算を行うことにより、所要の農作物（ほうれん草）における基準値案の調整と使用方法の見直しを行った。

(3) 暴露評価

各食品について基準値案の上限まで又は作物残留試験成績等のデータから推定される量のアセタミプリドが残留していると仮定した場合、国民栄養調査結果に基づき試算される、1日当たり摂取する農薬の量（理論最大一日摂取量(TMDI)）のADIに対する比は、以下のとおりである。詳細な暴露評価は別紙3参照（別紙3には、推定一日摂取量(EDI)を参考として併記した。）。

なお、本暴露評価は、各食品分類において、加工・調理による残留農薬の増減が全くないとの仮定のうえに行った。

	TMDI/ADI (%) ^{注)}
国民平均	21.6
幼小児 (1~6歳)	42.3
妊婦	18.0
高齢者 (65歳以上)	23.1

注) TMDI 試算は、基準値案×各食品の平均摂取量の総和として計算している。

(4) 本剤については、平成17年11月29日付け厚生労働省告示第499号により、食品一般の成分規格7に食品に残留する量の限度（暫定基準）が定められているが、今般、残留基準の見直しを行うことに伴い、暫定基準は削除される。

アセタミプリド作物残留試験一覧表 (国内)

No	分類	農作物	試験 回数	試験条件			最大残留量 (ppm)		基準値 の選定	暴露評価の代表値 (平均値)			
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数						
1	とうもろこし	とうもろこし (種子)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05	} ○	0.05		
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05				
		未成熟とうもろこし (種子)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.05			/	
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05				
		未成熟とうもろこし (種子)	2	18%液剤	64倍 産葉用無人ヘリによる 航空散布 3.2L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC	< 0.05				/
							14日	圃場B (3回, 14日)	< 0.05				
2	小豆類	あずき (乾燥種実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	3回	21日	圃場A (3回, 21日) HPLC	0.06	○	0.33		
							21日	圃場B (3回, 21日) GC	0.60				
3	ばれいしょ	ばれいしょ (塊茎)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200~300L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) 統一	0.06	} ○	0.04		
							7日	圃場B (3回, 7~21日) 統一	0.02				
		ばれいしょ (塊茎)	2	2%粒剤+20%水溶 剤	6kg/10a (植元土壌混和処理, 1回) + 2000倍希 釈散布 (200L/10a, 3回)	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	< 0.05			/	
							7日	圃場B (4回, 7日) GC	< 0.05				
		ばれいしょ (塊茎)	2	2%粒剤+18%液剤	6kg/10a 植元土壌混和 3.2L/10a 64倍無人ヘリ散布	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	< 0.05				(剤型違い)
							7日	圃場B (4回, 7日)	< 0.05				
4	さといも類 (含やつがしら)	さといも (塊茎)	2	2%粒剤	6kg/10a (播種散布処理)	1回	183日	圃場A (1回, 183日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05		
							180日	圃場B (1回, 180日) GC	< 0.05				
5	やまいも (長いも)	やまいも (塊根)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	0.01	} ○	0.01		
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.01				
6	こんにゃくいも	こんにゃくいも (球茎)	2	2%粒剤	3kg/10a (株元土壌混和)	1回	136日	圃場A (1回, 136日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05		
							134日	圃場B (1回, 134日) GC	< 0.05				
7	てんさい	てんさい (塊茎)	2	20%水溶剤	120倍, 6L/10a (#) (10a植付相当分苗床灌注)	1回	167日	圃場A (1回, 167日) (#) HPLC	< 0.05	} ○	0.05 (適用外使用)		
							162日	圃場B (1回, 162日) (#) GC	< 0.05				
8	だいこん類 (根) (含 ラディッシュ)	だいこん (根部)	2	2%粒剤	4kg/m ² (播種処理) (#)	1回	42日	圃場A (1回, 42日) (#) 統一	0.03	} ○	0.02 (適用外使用)		
							70日	圃場B (1回, 70日) (#)	< 0.01				
		だいこん (根部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 100~200L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) 統一	< 0.01			/	
							14日	圃場B (1回, 14日)	< 0.01				
		はつかだいこん (根部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) HPLC	< 0.01				/
							14日	圃場B (1回, 14日)	< 0.01				

No	分類	農作物	試験回数	試験条件				最大残留量 (ppm)		基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数				
9	だいこん類 (葉) (含 ラディッシュ)	だいこん (つまみ菜) (間引き菜)	2	2%粒剤	4kg/10a (播種処理) (#)	1回	13日	圃場A (1回, 13日) (#) GC 親	1.98	○	1.19 (適用外使用)
							12日	圃場B (1回, 12日) (#) GC 親	0.397		
		だいこん (葉部)	2	2%粒剤	4kg/10a (播種処理) (#)	1回	42日	圃場A (1回, 42日) (#) 統一	0.28	/	(適用外使用)
							70日	圃場B (1回, 70日) (#)	0.03		
だいこん (葉部)	2	20%水溶剤	2000倍散布 100~200L/10a	1回	14日	圃場A (1回, 14日) 統一	0.06	/	(剤型違い)		
					14日	圃場B (1回, 14日)	0.24				
10	かぶ類 (根)	かぶ (根)	2	20%水溶剤	2000倍散布 306.8又は242.4L/10a	1回	21日	圃場A (1回, 21日) HPLC	0.02	} ○	0.02
							21日	圃場B (1回, 21日)	0.02		
11	かぶ類 (葉)	かぶ (葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 306.8又は242.4L/10a	1回	21日	圃場A (1回, 21日) HPLC	1.02	○	1.30
							21日	圃場B (1回, 21日)	1.57		
12	西洋ワサビ	ワサビダイコン (根茎) 西洋わさび	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	< 0.01	} ○	0.01
							7日	圃場B (1回, 7日)	< 0.01		
13	はくさい	はくさい (茎葉)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株)植穴混和処理 (#) + 1000倍散布64~150L/10a (3 回)	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) (#) 統一	0.15	○	0.17 (適用外使用)
							14日	圃場B (4回, 14日) (#)	0.18		
14	キャベツ	キャベツ (葉球)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株)植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a (5回)	1+5回	7日	圃場A (6回, 7日) 統一	1.09	○	1.00
							7日	圃場B (6回, 7日)	0.90		
		キャベツ (葉球)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株)植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a (3回)	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) 統一	0.24	/	(7日目の データ無し)
							14日	圃場B (4回, 14日)	0.42		
(芽キャベツ)	メキャベツ (芽球)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	1回	6日	圃場A (1回, 6日) HPLC	< 0.05	○	0.08	
						7日	圃場B (1回, 7日)	0.10			
15	こまつな	こまつな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a (1回)	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	1.00	○	1.38
							7日	圃場B (1回, 7日) GC	1.76		
16	きょうな	みずな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a (1回)	1回	7日	圃場A (1回, 7日) GC	1.00	○	1.63
							7日	圃場B (1回, 7日)	2.25		
		みずな (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200L/10a (2回)	2回 (#)	7日	圃場A (2回, 7日) (#) GC	1.44	/	(適用外使用)
							7日	圃場B (2回, 7日) (#)	1.75		
17	チンゲンサイ	チンゲンサイ (茎葉)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(1g/株)植穴混和処理+2000 倍散布200L/10a (1回)	1+1回	7日	圃場A (2回, 7日 → 14日) GC	2.72	○	1.97
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.22		
18	はなやさい (カリフラワー)	カリフラワー (花蕾)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200, 266.7~300L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	0.18	○	0.26
							7日	圃場B (3回, 7日)	0.34		
19	はなやさい (ブロッコリー)	ブロッコリー (花蕾)	2	2%粒剤+20%水 溶剤	(2g/株)植穴混和処理+1000倍 散布150L/10a (3回) (#)	1+3回	14日	圃場A (4回, 14日) (#) 統一	0.36	○	0.50 (適用外使用)
							14日	圃場B (4回, 14日) (#)	0.64		

No	分類	農作物	試験回数	試験条件			最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)		
				剤型	使用量・使用方法	回数				経過日数	
20	その他のアブラナ科野菜	非結球メキャベツ (えき芽菜)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.60	/	(検査部位の違い)
							7日	圃場B (2回, 7日)	0.68		
		非結球メキャベツ (本葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 200L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.88	○	1.87
							7日	圃場B (2回, 7日)	2.85		
		茎ブロッコリー [花蕾及び茎]	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 200L/10a	2回	2日	圃場A (2回, 1日) (#) HPLC	0.40	/	(適用外使用)
					2日	圃場B (2回, 1日) (#)	0.12				
		なすな (その他のアブラナ科野菜) (茎葉部)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	0.24	/	
							7日	圃場B (1回, 7日)	0.48		
		ひこしまはるな (その他のアブラナ科野菜) (茎葉部)	2	2%粒剤	1g/株 植穴土壌混和	1回	53日	圃場A (1回, 53日) HPLC	< 0.1	/	
							64日	圃場B (1回, 64日)	< 0.1		
21	しゅんぎく	しゅんぎく (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 300, 150L/10a	2回	14日	圃場A (2回, 14日) HPLC	2.02	○	1.21
							14日	圃場B (2回, 14日) GC	0.39		
22	レタス (含 ティシャ、サラダナ)	レタス (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 (#) 150~250L/10a (3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) (#) GC	0.08	/	(適用外使用)
							7日	圃場B (3回, 7日) (#)	0.31		
		レタス (茎葉)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 植穴混和 2000倍散布 200~300L/10a (3回)	1+3回	7日	圃場A (4回, 7日) GC	0.54	/	
							7日	圃場B (4回, 7日)	0.34		
リーフレタス (茎葉)	2	20%水溶剤+2%粒剤	4000倍散布245~257.1L/10a 0.5g/株 定植時株元散布	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	1.68	/			
					7日	圃場B (2回, 7日)	1.48				
		ロメインレタス (茎葉)	2	20%水溶剤+2%粒剤	4000倍散布200又は300L/10a 0.5g/株 定植時株元散布	2回	7日	圃場A (2回, 7日 → 14日) HPLC	2.67	○	1.85
							7日	圃場B (2回, 7日)	1.02		
23	その他のきく科野菜	くきちしゃ (その他のきく科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	< 0.05	/	
							7日	圃場B (2回, 7日)	< 0.05		
		ははこぎき (ゴギョウ) (茎葉部)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) HPLC	0.34	/	
							7日	圃場B (1回, 7日)	0.77		
		食用ぎく (その他のきく科野菜) (花卉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150, 200L/10a (2回)	2回	14日	圃場A (2回, 14日) GC	1.26	○	0.87
					14日	圃場B (2回, 14日)	0.48				
		ふき (葉柄)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 定植直後株元散布 3000倍300/10a, 2回散布	1+2回	14日	圃場A (3回, 14日) HPLC	0.10	/	
							14日	圃場B (3回, 14日)	0.06		
		ふき (葉柄)	2	2%粒剤	2g/株 株元散布	1回	82日	圃場A (1回, 82日) GC	< 0.05	/	
							100日	圃場B (1回, 100日)	< 0.05		

No	分類	農作物	試験回数	試験条件			最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)		
				剤型	使用量・使用方法	回数				経過日数	
24	たまねぎ	たまねぎ (鱗茎)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05
							7日	圃場B (3回, 7日) GC	< 0.05		
25	ねぎ (含 リーキ)	葉ねぎ (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 150L/10a (3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	0.14	} ○	0.15
		7日	圃場B (3回, 7日)	0.15							
		葉ねぎ (茎葉)	2	2%粒剤	6kg/10a株元処理	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	< 0.05	/	(剤型違い)
		7日	圃場B (3回, 7日)	< 0.05							
		根深ねぎ (茎葉)	2	20%水溶剤	2000倍散布 160L/10a (3回)	3回	7日	圃場A (3回, 7日) GC	< 0.05	/	
		7日	圃場B (3回, 7日)	< 0.05							
		根深ねぎ (茎葉)	2	2%粒剤	6kg/10a株元処理	3回	7日	圃場A (3回, 7日) HPLC	< 0.05	/	
		7日	圃場B (3回, 7日) GC	< 0.05							
26	にら	にら (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150L/10a (3回)	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC	1.46	} ○	1.65
							1日	圃場B (3回, 1日) GC	1.84		
27	アスパラガス	アスパラガス (茎)	1	20%水溶剤	4000倍散布 400L/10a (1回)	2回	1日	圃場A (2回, 1日) HPLC	0.20	} ○	0.14
		アスパラガス (茎)	1	20%水溶剤	4000倍散布 400L/10a (1回)	2回	1日	圃場A (2回, 1日) HPLC	0.07		
28	ワケギ	わけぎ (その他のゆり科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤+2% 粒剤	2000倍散布300又は278L/10a 6kg/10a散布	4回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	1.36	} ○	0.75
							7日	圃場B (4回, 7日)	0.14		
		わけぎ (その他のゆり科野菜) (茎葉)	2	20%水溶剤+2% 粒剤	4000倍散布300又は278L/10a 6kg/10a散布	4回	7日	圃場A (4回, 7日) HPLC	0.40	/	(使用方法の違い)
							7日	圃場B (4回, 7日)	< 0.05		
29	その他のゆり科野菜	食用ゆり (鱗茎)	2	20%水溶剤	4000倍散布 150, 200L/10a	4回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC	< 0.05	} ○	0.05
		1日	圃場B (4回, 1日)	< 0.05							
		らっきょう (その他のゆり科野菜) (鱗茎)	3	20%水溶剤	2000倍散布 150・200L/10a	3回	14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.01	/	
							14日	圃場B (3回, 14日) HPLC	0.03		
							14日	圃場A (3回, 14日) GC	< 0.02		
30	パセリ	パセリ (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 200L/10a	1回	3日	圃場A (1回, 3日) GC	1.10	} ○	0.75
							3日	圃場B (1回, 3日)	0.39		
31	セロリ	セロリ (茎葉)	2	2%粒剤	0.5g/株 定植時植穴土壌混和	1回	71日	圃場A (1回, 71日) HPLC	< 0.05	/	
							100日	圃場B (1回, 100日)	< 0.05		
		セロリ (茎葉)	2	20%水溶剤	4000倍散布 250, 235L/10a	2回	7日	圃場A (2回, 7日) HPLC	0.85	} ○	0.58
							7日	圃場B (2回, 7日)	0.30		
32	みつば	みつば (茎葉)	2	20%水溶剤	8000倍散布 150, 200L/10a	1回	7日	圃場A (1回, 7日) GC	0.97	} ○	1.40
							7日	圃場B (1回, 7日)	1.82		

No	分類	農作物	試験圃場数	試験条件				最大残留量 (ppm)	基準値の選定	暴露評価の代表値 (平均値)
				剤型	使用量・使用方法	回数	経過日数			
33	トマト	ミニトマト (果実)	2	15%燻煙剤+2%粒剤	1g/株 (定植時植穴土壌混和・1回) + 燻煙処理 (50g/400m ³)	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC 0.16	/	(剤型違い)
		圃場B (4回, 1日) < 0.05	○	0.62 (適用外使用)						
		ミニトマト (果実)			2	20%水溶剤+2%粒剤	2000倍散布300L/10a 1g/株 定植時植穴土壌混和	1+3回(＃)	1日	圃場A (4回, 1日) (＃) HPLC 0.50
		圃場B (4回, 1日) (＃) 0.73								
		ミニトマト (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	1g/株定植時植穴土壌混和+2g/株生育期株元散布	1+3回	1日	圃場A (4回, 1日) HPLC < 0.05	/	(剤型違い)
		圃場B (4回, 1日) < 0.05								
		トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場A (2回, 7日) 統一 0.42	/	
		圃場B (2回, 1日) 0.23								
トマト (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 300L/10a	2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.21				
圃場B (2回, 7日) 0.46										
トマト (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	2g/株 (1回) 2000倍散布 200L/10a (2回)	1+2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.20				
圃場B (2回, 3日) 0.20										
トマト (果実)	2	15%くん煙剤	50g/400m ³ 燻煙	2回	1日	圃場A (2回, 1日) 統一 0.02				
圃場B (2回, 1日 → 3日) 0.04										
トマト (果実)	2	2%粒剤	2g/株(定植時植穴土壌混和, 1回) + 1g/株 (株元散布, 2回)	3回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC < 0.05	/			
圃場B (3回, 1日) GC < 0.05										
34	ピーマン	ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和(＃)	1回	93日	圃場A (1回, 93日) (＃) 統一 0.04	/	(適用外使用)
		圃場B (1回, 44日) (＃) 0.15								
		ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	2000倍散布 (＃) 250~300L/10a (3回) (＃)	3回(＃)	1日	圃場A (3回, 1日) (＃) 統一 2.33	/	(適用外使用により、評価対象より除外)
		圃場B (3回, 1日) (＃) 1.45								
		ピーマン (果実)	1	15%くん煙剤	50g/400m ³ 燻煙	3回(＃)	1日	圃場A (3回, 1日) (＃) 統一 0.24	/	(適用外使用)
		圃場A (3回, 3日) (＃) 統一 0.20								
		ピーマン (果実)	2	2%粒剤	1g/株植穴土壌混和(＃)	1回	84日	圃場A (1回, 84日) (＃) 統一 0.03	/	(適用外使用)
		圃場B (1回, 78日) (＃) 0.01								
		ピーマン (果実)	2	20%水溶剤	4000倍散布 200~400L/10a (3回)	2回	1日	圃場A (2回, 3日) 統一 0.18	/	(剤型違い)
		圃場B (2回, 1日) 0.40								
ピーマン (果実)	2	2%粒剤+1%粒剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和 + 2g/株生育期株元散布	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC < 0.05	/	(使用方法の違い)		
圃場B (3回, 1日) < 0.05										
ピーマン (果実)	2	2%粒剤+15%くん煙剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和 + 50g/400m ³ 燻煙処理	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.24	/	(使用方法の違い)		
圃場B (3回, 1日) 0.14										
ピーマン (果実)	2	2%粒剤+20%水溶剤	0.5g/株定植時植穴土壌混和 + 4000倍希釈液150L又は 220.4L/10a散布	1回+2回	1日	圃場A (3回, 1日) HPLC 0.32	○	0.38		
圃場B (3回, 1日) 0.43										